自立活動グループ

昨年度の研究

・各教科、合わせた指導の単元指導計画の
作成手順について

↓

・「自立活動」を中心とする児童生徒の学習内容や
評価をどう残すべきか？

今年度の教務部活動計画

○自立活動の指導・評価が適切に行われるよう支援する。

・「自立活動」を中心とする教育課程における指導計画作成手順について整理する。

• 自立活動で学習した内容や評価を残していく方法を検討する。

研究内容

・自立活動の年間指導計画様式について検討し、作成手順について整理する

・自立活動の単元指導計画について検討する

研究の流れ

①自立活動の「年間指導計画」「単元指導計画」作成について検討

②年間指導計画作成に向けて
様式や作成手順を検討

様式

①目標（区分・項目を明記）
・単元名学習内容・評価を記入
（からだの内容については記入しない）
②前期後期に分けて評価

自立活動年間指導計画

学部　学年　　氏名　　記載者：　　記載者

		目標（関連する区分・項目）		目標（関連する区分・項目）		目標（関連する区分・項目）	
	時数	単元名・指導内容	評価	単元名・指導内容	評価	単元名・指導内容	評価
4～9月							
10～3月							

自立活動年間指導計画

＜作成手順＞

学部　学年　　氏名

記載者

		目標（関連する区分・項目）		目標（関連する区分・項目）		目標（関連する区分・項目）	
	時数	単元名	評価	単元名	評価	単元名	評価
4～9月							

③目標と関連する区分項目を記入する。

①学部、学年、氏名、記載者を記入

④指導内容表から目標に関連する指導場面をコピーし貼り付ける。

⑤9月末、３月末までに評価を記入する。

②時数を記入する。
（時数はからだ、道徳、
Ｉ段階の教科の時数を抜いたもの）

研究の成果

　授業づくりをする上で、児童生徒の実態から目標を設定する自立活動と、目標の系統性があり全ての内容を取り扱う教科学習との違いを再認識することができた。

課題

○「自立活動」を中心として学習する児童生徒もⅠ段階の児童生徒と同じグループで学習しているが・・・

・目標達成に向けた学習内容となっているか？

・個別の児童生徒に合わせた適切な目標となっているか？

○教科や単元ごとで指導者が変わる学部では年間指導計画作成、見直しのときに適切な目標や指導内容を検討・共有する場面を設定する必要がある。

今後期待すること

〇生徒の学びが積み重ねられるよう発展性のある指導計画を立てていく必要がある。（12年間を見通す）

〇学部間の引継ぎ資料として活用していくためには、各学部で、より適切な目標・評価の設定を図っていく必要がある。